

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	大師公園	評価対象年度	平成27年度
事業者名	事業者名 公益財団法人川崎市公園緑地協会 代表者名 理事長 大谷 雄二 篠田 隆志(平成28年6月9日まで) 稜 親二(平成25年6月6日まで) 住 所 川崎市中原区等々力3番12号	評価者	管理課長
指定期間	平成24年4月1日～平成29年3月31日	所管課	川崎区役所道路公園センター管理課

2. 事業実績

利用実績	大師公園は、川崎大師平間寺に隣接する地区公園である。園内の藩秀園や芝生広場等での各種催物は、前年度からは57件減少したものの、171件の催物が実施されている。 芝生広場は年間を通じ、保育園児や市内小学校児童の遠足や校外学習、TVCM撮影、緑陰広場は各種イベント会場として利用された。外周通路は、近隣住民のウォーキングコースとして、多くの方々に利用され、祝日や休日には、多くの市民の皆さんの憩いの場として利用されている。 特に、有料施設であるテニスコートの利用者数は、年々増加傾向にあり、前年度より500人以上が増加し、13,896人の利用があった。
収支実績	平成27年度の収入は、指定管理事業収入38,468,571円、自主事業収入926,172円及びその他の収入1,202円の計39,395,945円である。支出は、事業費13,618,702円、管理費23,855,429円、計37,474,131円であり、当期収支差額は1,921,814円であった。 給与・賃金・福利厚生費からなる管理費は、予算ベースより2,013,571円少ない23,855,429円の執行額であり、事業費支出ではほぼ予算ベース並みの13,618,702円となり、効率的な運営が図られていた。
サービス向上の取組	平成24年度から実施している近隣11町内会長との連絡協議会で出た要望等、多様な市民ニーズに対応するために、ボランティアによる園内清掃や地元町内会等による花壇草花の植替えを行うなど、各年齢層の方々を利用する公園として、コミュニティーの拠点となるよう、市民参加による公園づくりが推進された。

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
利用者満足度	利用者満足度	利用者のニーズ等を捉えるための具体的方策を実施しているか	12	3	7.2
		利用者ニーズ等を適切に分析しているか			
		意見・要望の収集方法は適切だったか(十分な意見・要望を集めることができたか)			
	事業成果	事業実施における自己評価を行っているか	8	3	4.8
		当初の事業目的を達成することができたか			
(評価の理由) 利用者からの意見・要望・苦情等については、サンキューコール(0件)、事務所窓口(9件)、アンケート(85件)を収集し、公園の運営管理に活用されている。また、公園内における事件・事故については年間10件発生しているが、その都度適正な処理を実施したため、管理上の問題も発生せず、通年の維持管理が計画どおりに実施されていた。					
収支計画・実績	効率的・効果的な支出	計画に基づく適正な支出が行われているか	9	3	5.4
		支出に見合う事業が行われているか			
		効率的な執行等、経費削減の具体的な取組は為されたか			
	適切な金銭管理・会計手続	指定管理経費とその他業務に係る経費を区分し、適切に管理しているか	3	3	1.8
		事業収支に関して適正な会計処理が為されているか	3	3	1.8
(評価の理由) 人件費の抑制に努め、管理費は予算ベースより2,013,571円少ない執行額であった。また、年度当初に計画されていた樹木剪定委託、秀湖清掃委託、産廃ゴミ分別委託等に加えて、高木剪定や遊具補修等の緊急を要する対応が実施され、効率的な事業費の執行が図られていた。また、自動販売機での収入を活用した自主事業としては、花と緑の園芸相談の開催、花壇草花の植替えや愛犬マナー講習会等が実施された。特に青空園芸教室実施の際には、180名が参加するなど、公園の利用促進が図られた。					
サービス向上及び業務改善	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	9	3	5.4
		サービスの利用促進への具体的な取組が為されているか			
		利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか			
	業務改善によるサービス向上	業務の遂行にあたって、現状分析、課題把握に取り組んでいるか	9	3	5.4
		業務改善が必要な場合に、改善策の検討と実施が行われているか			
	利用者の意見・要望への対応	利用者ニーズの把握に努め、それを事業や管理に反映させる取組が為されているか	9	3	5.4
		利用者からの苦情や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか			
(評価の理由) 平成24年から毎年実施されている公園の近隣11町内会長との連絡協議会は定着し、愛犬マナー講習会等も実施し、市民参加による公園づくりの推進を図るとともに、サービス向上が図られている。 また、園内の緑化推進・利用促進を図るための取組みでは、園内清掃ボランティアとの協働や地元町内会と連携した花壇への草花の植付けが実施されていた。特に園内清掃は、常時7～9名のボランティアとの協働により、年末年始を除く毎週月曜日・水曜日・金曜日の午前9時30分から約2時間、継続的に実施されており、適切なサービスの提供へと繋がっている。					

組織管理体制	適正な人員配置	必要な人員(人数・有資格者等)が必要な場所に適切に配置されているか	6	3	3.6
	連絡・連携体制	定期または随時の会議等によって所管課との連絡・連携が十分に図られているか			
	再委託管理	再委託先との連携調整が適宜・適切に行われ、業務の履行についても適切な監視・確認が為されているか	4	3	2.4
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修・会議等が定期的に行われ、スタッフのスキルとして浸透しているか			
	安全・安心への取組	事件・事故、犯罪、災害から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等) 緊急時に警察や消防など関係機関と速やかに連携が図れるよう、連絡体制を構築しているか	4	3	2.4
	コンプライアンス	個人情報保護、その他の法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか			
	職員の労働条件・労働環境	スタッフが業務を適正に実施するための、適切な労働条件や労働環境が整備されているか	4	3	2.4
	環境負荷の軽減	環境に配慮した調達や業務実施が行われているか			
(評価の理由) 有料施設の受付業務や施設維持管理業務については、公園管理に精通した職員が配置され、適切な運営が実施されている。 また、事故や災害への対応については、警察や消防等、関係機関との連携が図られ、的確に処理がなされていた。 さらに、本部職員指導による研修会・講習会の開催により、業務知識や関連法令が習熟されており、更なる公園管理スキルの向上を期待したい。 個人情報保護等についても、法令遵守で業務が遂行されていると認められる。					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	6	3	3.6
	管理記録の整備・保管	業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか			
	清掃業務	施設内の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか	6	3	3.6
	警備業務	施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか			
	植栽管理	植栽等の維持管理を適切に実施しているか	6	3	3.6
	備品管理	設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか			
(評価の理由) 有料施設利用実績表、維持管理実績表及び業務日誌等で業務の実施状況を確認、施設の保守管理についても計画どおりに実施されていることを確認し、安全な利用に支障をきたすことはなかった。 また、清掃業務についても計画どおりに実施され、快適に利用できる環境が維持されており、植栽管理についても計画どおりに実施されていることを確認した。					

4. 総合評価

評価点合計	60.0	評価ランク	C
-------	------	-------	---

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

今年度は、4月実施の青空園芸教室に参加者数180名、10月の藩秀園を利用した野外ライブコンサートは入場者数266名を数え、多くの集客数を得たイベントを開催するなど、公園の利用促進が図られた。
業務日誌や点検記録簿等で業務を確認したところ、計画どおりの業務が実施され、施設の維持管理についても、指定管理者業務仕様書の水準を満たしていることが確認できた。
特に、園内清掃については、ボランティアとの協働により、年間を通じ継続的に実施されており、公園利用者への快適・適切なサービスの提供へと繋がっている。
また、収支実績も適正に執行されており、当初の事業目的が達成されている。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

各種イベントを通じて、数多くの方に公園の利用促進が図られたが、イベント時に限らず、恒常的に質の高いサービスを市民に平等に提供できるよう管理運営に引き続き取り組むこと。
また、収支状況に関しても適正な会計処理がなされているので、引き続き管理経費の削減など管理の効率化に努めること。
今後は、引き続きモニタリングを実施し利用者の要望等を把握し、更なる維持管理意識と危機管理意識の向上、常に安定した施設の管理運営を行い、サービスの向上に積極的に努めること。